

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



双方向の情報交流

町田市議会

所属: 志政クラブ

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2127

町田市総合水防訓練を見学

水害シーズンを前に、町田市総合水防訓練が三輪緑山の下水処理場で開催されました。私も勇ましい格好をしています。実際に訓練に出動参加したわけではなく、議員出席の見学者はこのスタイルが前提になっています。



今年4月中にも町田近辺で豪雨が発生し、町田市内でも人が水路に流されそうになったり、自動車やバイクが水没したり、住宅に水が入る物理的な被害が出ています。また、近年では境川が氾濫する水害が発生しています。この日は、そうした水害が発生した場合の様々な対策方法が実地に訓練されました。

各種自動車を使った機動力、レスキュー隊員による高度の技能、さらに大勢の消防職員、消防団員、市職員、各種ボランティアを動員した人海戦術を多面的に見ることができました。ただし、これから梅雨のシーズン、今年動植物の生育に適した程度の「恵の雨」であってほしいと願っています。

多摩ニュータウン環境組合

町田市・八王子市の一部と多摩市全域のエリアで収集したごみを処理するのが、多摩ニュータウン環境組合（一部事務組合と言う）であり、3市議会で選出された議員による組合議会（合計9名—平成23年3月より、私もその議員となっています）が構成されています。他方、上記の3市長が理事者を構成し、その責任者である管理者は多摩市長が担当しています。市議会と同様な方法で、定例会や臨時議会があり、この5月も臨時会が開催されました。6月も臨時会を開催見込みです。

平成6年にこの清掃工場が設置される際の工事を受注したメーカー（日立造船）が、他の入札業者と談合して落札したことが後に明らかになりました。その談合の損害賠償に関する対応では行政が損害賠償を求めず、住民自身が自ら起こした訴訟の勝訴によって、その賠償金の支払い（12億8,647万円＋延滞金利込みで総額18億円以上になっている）を組合がメーカーから受けています。しかし、その契機を作った住民訴訟の弁護士報酬の和解金を組合が立て替えて支払っています。そこでそれをメーカーに負担を求めたものですが、地裁で棄却されたため、東京高裁に控訴する手続きを行ったものでした。

組合議会では、その控訴のための受任弁護士への着手金支出を内容とする補正予算の専決処分承認を求められたものですが、この5月の臨時議会で全会一致して承認しました。

なお、本年5月より、この多摩ニュータウン環境組合議会の副議長に欠員が生じ、私は臨時議会においてその職務に就任しました。

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> 発見動画チャンネル <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E 103-13 吉田つとむ（市議会議員）

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



インタビュー生募集中



携帯QRコード
でブログ閲覧

矢祭町で見た日刊紙「夕刊 矢祭」

2013年5月21日までに、11326号も発行されている日刊紙「夕刊 矢祭」の存在に驚きました。価格は月額千円で、サイズはタブロイド版両面の記事でした。福島県矢祭町の「矢祭町もったいない図書館」でファイルにまとめられたものを見たものです。図書館の人の話によれば、発行者が自分一人で取材・編集しているとのことですが、それにはすごい知恵と体力が必要です。さすがに、宅配作業はアルバイトを雇っているとのことでした。

掲載記事の内容は、いわゆる街ネタがほとんどで、町の政治経済から文化と暮らし、あるいは冠婚葬祭のことまで詳しく掲載されていました。直近人口が6,356人の町に根付いた新聞のため、TV欄等はなく、身近な企業のコマーシャルも掲載されていました。



*ちなみに、私が発行するこの「市議会レポート」は通巻で259号(現在は月2回刊)に過ぎません。私にとって、よき見本と目標を地方の視察中に発見できました。

議員報酬に關しての方法(矢祭町)

議員報酬が日額制(会議の出席日数に応じた報酬制度)で有名な福島県矢祭町議会を視察しました。町長自らが自分の給与を職員の課長級と同額にしたことで、議会は定数削減を果たした上に、月額報酬制から日額報酬制に変更していました。こうした対応の一方で、健康対策や子育て支援の住民サービスには充実した施策を打ち出していました。

矢祭町もったいない図書館は全部が寄贈図書



福島県矢祭町の「矢祭町もったいない図書館」を見学しました。そのすべて蔵書は一般の人々による寄贈の図書でした。館内で閲覧できる本が開架式で5万冊、他に閉架式の蔵書が40万冊もありました。今も寄贈を受け入れていますが、過去3年以内の出版本に限ることでした。合わせて送料も寄贈者が負担しますが、それでも大人気であり、全国から寄贈する人が絶えないことでした。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com

mobile : yoshidaben@docomo.ne.jp